

その情報、
信じて
いいの？



新型コロナ情報を見極めるときのポイント

即断するな

ソ

基本中の基本。初耳の情報と出合ったら、とにかくこれをつぶやいて、いったん止めよう。

「実は史上最凶のウィルスと判明！」「予防には●●を飲むといい！」などという、それだけ見てもホントかうソか見分けがつかない情報は、とりあえず保留する。保留して、自分で調べるのが面倒だったら、信じ込みも言いふらしもせず、ただ頭の片隅に置いておく。

で、続報と出会うたびに以下の3つの呪文を当てはめながら、「これは本当っぽいな／怪しいな」と、だんだん真偽を詰めていこう。

うのみにするな

ウ

情報には、《報告》と、それを伝えている人の《意見・印象》とが、ゴッチャになっていることが多い。「武漢には病原体研究所があり、そこからウイルスが漏れたのかも」と聞いても、「そうなのか！」とウ呑みせず、まず仕分け。前半部分（研究所があるという報告）は数年前の他メディアの記事も添えられているから、どうやら本当かも知れないが、後半（そこから漏れた）は、証拠が示されていない。つまり、その情報を発した人の1つの推測（意見・印象）だな…と、何も自分で新たに調べなくても、見分けることができる。そこをきちんと分けないと、早とちりして末尾の「かも」をスッ飛ばし、「そこから漏れた」と自分で断定的に思い込んでしまうから、要注意！

かたよるな

カ

1つの情報源から聞いただけで、話を決めつけないこと。

《人数ではなく、情報の種類の数でカウントする》。検索で同じ話が5万件ドツと並んでも、ネタ元が複数見出せなかったら、それは「5万ではなく、1」と数えよう。「大勢が言ってるから本当だ」などという判断基準は、持たないこと。

地味な事実より派手なデマの方が、多くの方が反応してしまう可能性があるのだから。「こんな重大な情報が、1つの出所だけに片寄っている。これはデマかも…」と、思いとどまるべし。



中だけ見るな

ナ

別に悪意のデマや隠ぺいでなくても、情報というものは元々、全て“スポットライト”だ。そこには必ず、“周りの暗がり”がセットで存在する。

だから、照らし出されたスポットライトの中だけ見て「これが全てだ」と思い詰まず、周囲にまで想像の窓を広げよう。「死者は●万人に達すると専門家が予測」といった、まだ確定できない“説”のような情報。それを聞いたときにも、「このスポットライトの外には、違う説を唱えてる専門家もいるかもな」と、別の情報が今後入って来る余地を頭に残す。

たまたま目に止まった1つの説で早々と断定・ベ切りをしないよう、要注意！